



第11回 おがるっこ

(東北大学病院 NICU で大きくなったこどもたちと親の会)



令和6年7月28日、「第11回おがるっこ（東北大学病院NICUで大きくなったこどもたちと親の会）」が開催されました。夏の開催は約5年ぶりで、当日は18組のNICUの卒業生とご家族にお集まりいただき、その他に東北大学学生ボランティア、仙台市の保健師、NICUスタッフ（医師、看護師、保育士、公認心理師）が参加いたしました。

コロナ禍を経て「久しぶりに参加したかった」「みんなに会いたかった」という声も多く聞かれ、たくさんの皆さまにご参加いただきました。



(集合写真)





新生児科医師からの開会のあいさつ後、それぞれのご家族から自己紹介をしていただきました。お子さまのお名前や、今好きなことやまっていることなどをお話していただきました。私たちスタッフも、久しぶりに会う卒業生の皆さんのたくましく成長した姿や、笑顔でお子さまのことをお話されるご家族の様子を見て、とても感慨深い気持ちになりました。

また、大きなお子様には自分で自己紹介をしていただきました。成長したお子さまの様子をお子さまのご家族だけでなく、参加されたご家族、スタッフ一同で我が子のように感じることができ、とても温かい空気に包まれていました。



(自己紹介の様子)

(手遊びの様子)



次に、『みつやサイダー』や『さかながはねて』のお歌を歌いながらみんなで一緒に手遊びとふれあい遊びを行いました。参加したお子さまからは「それ知ってる!」と元気な声も聞かれ、ご家族同士、近くのお友達同士で一緒に歌ったり、くすぐりあったりして、会場に笑顔があふれていました。





その後に『新聞じゃんけん』を行いました。『新聞じゃんけん』とは、二人一組となって一枚の新聞紙に乗り、じゃんけんをして、負けたら新聞紙を折りたたんでいきます。負けると折りたたんだ新聞紙が小さくなるので、新聞紙に乗り続けた人が勝ち、というゲームです。



(新聞じゃんけん 大盛り上がり！)

家族みんなで新聞紙に乗ったり、スタッフと一緒に乗るご家族もいたり、会場で知り合ったお友達と一緒に楽しんだりと様々なチームができ、会場にいる全員がゲームに参加しました。皆さんで上手にバランスを取りながら新聞に乗っており、大盛り上がりでした。



わくわくイベントでは『うちわづくり』を行いました。好きなシールや飾りを選んでオリジナルのうちわを作成しました。年齢の大きなお子さんは、自分で好きなものを選んで作成し、小さなお子さんは、お母さんとお父さんと一緒に作成しました。夏をテーマにしたうちわだけでなく、個性



豊かな、カラフルなうちわができあがりました。真剣に制作に取り組み、完成したうちわであおぎ楽しむ子どもたちの姿がありました。





みんなじょうずにできたね！

わくわくイベントの後には、テーブルごとにご家族同士の情報交換を行いました。前半後半でグループを入れ替え、前半のグループは、同じ年代のお子さまを持つご家族が集まりました。お子さまの成長を互いに喜びあったり、日頃の不安や悩みを打ち明け合ったりされていました。後半のグループは、事前にいただいた参加目的等で構成し年齢の異なるお子さまを持つご家族が集まりました。先輩家族から、離乳食や集団保育についての体験談を聞いたり、悩みを共有したりする姿がありました。おがるっこに参加している他のご家族のお子さまの様子を直接見ることで、我が子が今後どのように成長していくのか見通しを持つことができた、就学に関して具体的にイメージを持つことができたとおっしゃるご家族もいらっしゃいました。

また、今回もパパのみで語り合うパパグループの場ももたせていただき、子育てについてパパ同士で語り合う姿がみられました。今回男性保健師にも参加いただき、男性目線での助言もいただきました。





ここで、情報交換で出たご意見や会に参加してみてのご感想を紹介させていただきます。

●離乳食について

- ・離乳食を食べないことが多く、お菓子や果物は食べます。
好きなものを食べさせていることが多いです。
- ・ジュースは飲ませたいですが、多量に飲ませたくない気持ちもあります。
- ・離乳食がすすまず、好き嫌いがあるため、食べられるおかずに偏りがあります。
- ・経管が抜けた時の対応、2人の時は良いが1人の時の方法に困りました。

●集団教育について

- ・2歳だがうまくしゃべれないため、保育園で何をしてきたか、児から聞けない。
保育士からのニュアンスでどんな状況か聞いています。
- ・将来どうなりたいかで、支援学級に通うか普通学級に通うか決めるとよいです。
(児の状況も見ながら)
- ・担任の先生の理解度が様々。心理士や発達支援のコーディネーターの先生から伝えてもらい、理解につながっています。できないことを踏まえて、伸ばしてくれる先生と出会えました。

●パパグループででたお話

- ・家での母親や児との関わり方に悩みました。
- ・地域、自治体へ不明点を一緒に聞きに行きました。
- ・母親一人の時間を確保できるようにしました。
- ・このように交流の場があるとうれしい。

●参加してみての感想

- ・また参加したいと思いました。
- ・当院 NICU に入院して良かったです。お世話になった
看護師さんの初心者マークが外れていて、うれしくなりました。





参加してくださった笑顔・元気いっぱいのお子さまたちと、あたたかいご家族のみなさまのご協力により、第11回おがるっこをとても楽しく有意義な会にすることができました。また参加したいとの声もいただき、とてもうれしく思います。NICU入院当時のご家族のお気持ちや退院後の生活について直接うかがえることができ、わたしたちスタッフにとってもとても貴重な機会でした。そして、何よりも卒業したお子さまたちやご家族と笑顔でお会いできるということは、とてもうれしいこと・喜びであると改めて感じることができました。暑い中、ご参加いただき、本当にありがとうございました。

今年度よりコロナ禍前と同じように、おがるっこ開催を年2回とします。次回は12月1日(日)に開催する予定です。卒業したお子さまやそのご家族にまた笑顔でお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

令和6年8月31日

東北大学病院 西6階病棟 おがるっこ事務局

